

辺地総合整備計画

(太 折 辺 地)

- ◆ 県営桧原地区農地整備負担金事業 (R8～R11)
- ◆ 町道折渡桧原線雪崩防止対策事業 (R8～R9)
- ◆ 町道舟形太郎野線道路改良事業 (R8)
- ◆ 太折地区除雪ロータリ更新事業 (R8)

山 形 県 舟 形 町

太折辺地に係る総合整備計画

山形県最上郡舟形町太折辺地
辺地の人口 75 人
辺地の面積 3.90k m²

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 舟形町太折辺地 |
| (2) 地域の中心位置 | 舟形町富田字太郎野 1519 番地 |
| (3) 辺地度数 | 124 点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

太折辺地は、当町南部に位置し町の中心より約 4 km の最上川沿いの山間へき地にある集落であり、地区内に約 82ha の農地が存在し、農業が盛んに行われている地域である。一方で、豪雨災害等が頻発しており、孤立集落を防ぐなどの災害対策等が課題である。

これまで辺地総合整備計画に基づき、国道 13 号の猿羽根山トンネル尾花沢側出口を起点とし、当地区を結ぶ「町道舟形太郎野線道路改良事業」を実施し生活基盤の向上を図ってきた。今後も、継続して生活道路の整備や産業の振興、防災力の強化を図り、地区住民の安全安心な生活を確保していく必要がある。

当地区では、農業競争力強化を図るため、桧原地区農地整備事業計画を進めており、令和 11 年度まで県が実施主体となって農地整備事業を実施している。本事業により、農地の集積がなされ農業効率や農業収入の向上が期待できる。一方、太郎野地区の農地については農業用施設の老朽化が進んでいるため、早急に改修及び更新等を進めていく必要がある。

また、当地区に配備されている除雪ロータリは平成 18 年度に購入しており、耐用年数を大きく超過していることから早急に更新する必要がある。除雪ロータリを更新することで、当地区の除雪効率が大幅に改善し、町民の安心安全な暮らしの確保に資する。

さらに、当地区の主要道路の 1 つである「町道折渡桧原線」においては、冬期間に雪崩が発生した場合の集落の孤立などを防ぐため、雪崩防止対策も急務である。

これらの整備により、当地区の生活基盤の向上や交流の拡大が図られ、地区住民の安全安心な生活が確保できる。

3 公共的施設の整備計画

◇計画期間 令和 8 年度から令和 12 年度まで 5 年間

(単位：千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源の内 辺地対策事業 債の予定額
			特定財源	一般財源	
県営桧原地区農 地整備負担金事 業	町	120,000		120,000	120,000
町道折渡桧原線 雪崩防止対策事 業	町	196,800		196,800	196,800
町道舟形太郎野 線道路改良事業	町	4,000		4,000	4,000
太折地区除雪ロ ーター更新事業	町	75,000	14,176	60,824	60,800